



令和4年12月16日

地震で被災した国道399号伊達橋（福島県伊達市）へ 応急組立橋を貸与します！

～応急組立橋を道外へ貸与するのは今回が初～

札幌開発建設部は、東北地方整備局からの要請により、令和4年3月16日の福島県沖を震源とする地震で被災した国道399号伊達橋（福島県伊達市）の仮橋による応急復旧のため、下記のとおり応急組立橋を貸与しますのでお知らせします。

記

貸与日時：令和4年12月20日（火）14：00

貸与橋梁：応急組立橋1橋（組立式下路ワーレントラス橋、貸与延長34m）

貸与地：北海道開発局月寒庁舎（札幌市豊平区月寒東2条8丁目3-1（札幌道路事務所隣接））

使用箇所：国道399号伊達橋（福島県伊達市前川原地内）

- 令和4年3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震により、阿武隈川を渡河する国道399号伊達橋（福島県伊達市）が被災し、現在も通行止めとなっている状況です。
- 同橋は、復旧に高い技術力を要する等から、国（東北地整）の権限代行による復旧を行っています。
- 東北地方整備局では、被災状況の詳細調査及び対策検討の結果、復旧工事に相当の期間を要することから、地域の交通確保のため仮橋の設置を行うこととなりました。
- 札幌開発建設部は、東北地方整備局から要請を受けて、応急組立橋を貸与することにしました。北海道開発局が保有する応急組立橋を道外へ貸与するのは今回が初めての事例となります。

※詳細は、別紙1もご参照ください。貸与当日の取材を希望される方は、別紙2により申し込み願います。

※国道399号伊達橋の災害復旧情報は、福島河川国道事務所HPもご参照ください。

http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/datebasi_restoration/datebashi.html

※応急組立橋の詳細は、北海道開発局HPもご参照ください。YouTubeでも配信しています。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/kouhou/splaat000001nk72-att/slo5pa00000qtcr.mp4>



【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

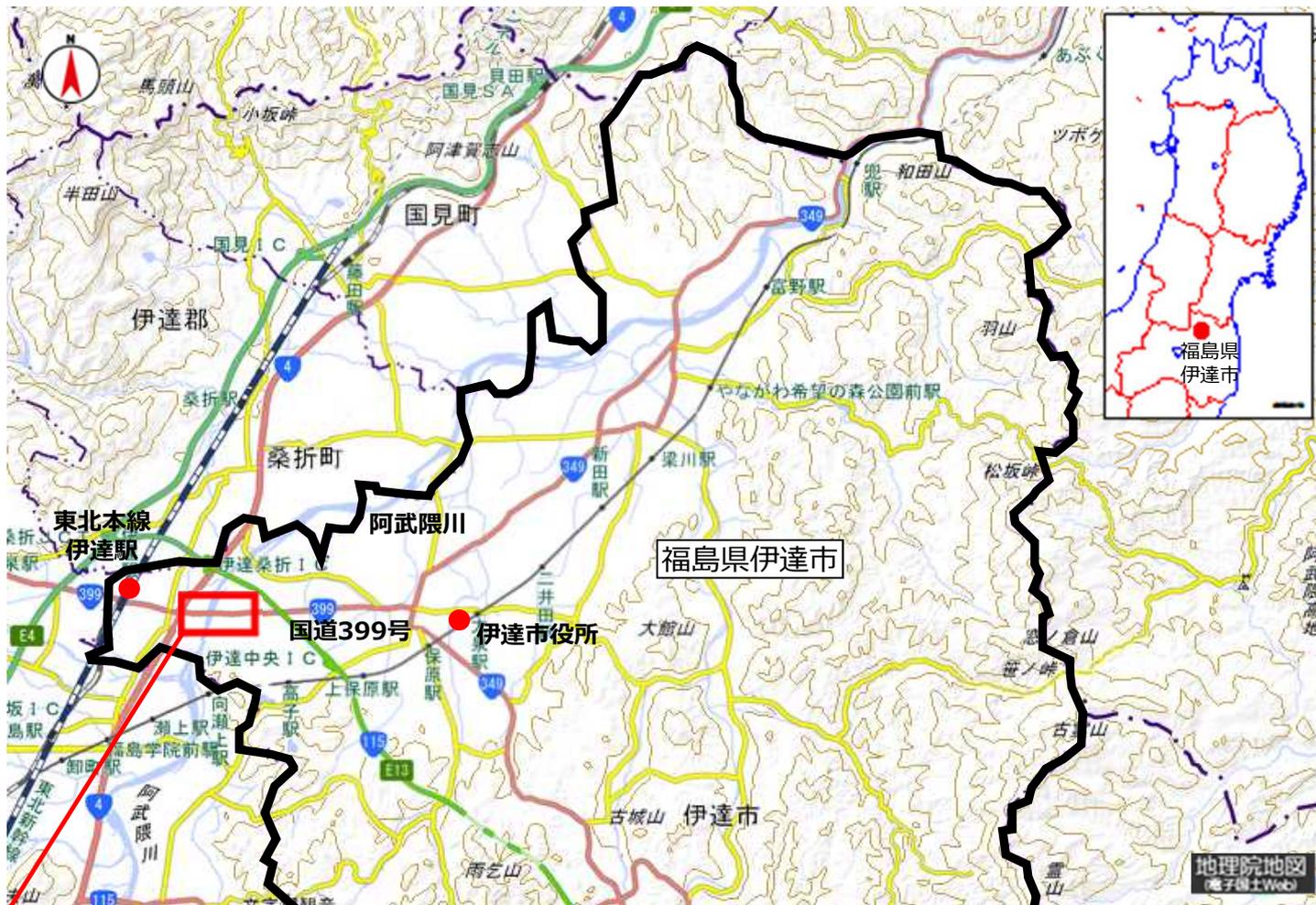
防災課 課長 齊藤 仁史（電話番号 011-611-0306 ダイヤルイン）

防災課 課長補佐 仲田 田（電話番号 011-611-0306 ダイヤルイン）

札幌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/>



【応急組立橋 使用箇所】国道399号伊達橋



国道399号伊達橋（福島県伊達市前川原地内） 橋長：288.0m 架設年次：1967年
主な被災：上部工の移動 対応：国の権限代行による災害復旧



※写真提供：東北地方整備局

(参考) 応急組立橋 概要

○ 応急組立橋とは、災害等により橋梁が流出または損傷し、道路が通行不能となる場合に、短期間で応急的に組立・架設し、道路機能を確保することを目的とした橋梁です。

【応急組立橋】

橋梁形式：組立式下路ワーレントラス橋



【応急組立橋の特徴】

- 被災地の状況に応じ、4 mピッチで18 m～50 mまで任意の延長で支間調整が可能。
- 主構の連結はピン連結のため、特殊な技術は不要であり、組立は容易かつ迅速に可能。
- 全ての部材は、10 tトラックで輸送可能。
- 部材数が少なく、各部材に互換性があり、保管、チェックが容易。
- 部材は亜鉛メッキのため防錆効果は高く、長期間使用が可能かつ維持管理が容易。

【応急組立橋の出動実績】

▼H26～29 国道453号恵庭市奥漁川橋（豪雨災害）



▼H28～30 国道273号上川町高原大橋（台風災害）



※ 応急組立橋の詳細は、北海道開発局HPもご参照ください。YouTubeでも配信しています。
<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/kouhou/splaat000001nk72-att/slo5pa000000qtr.mp4>



取材申込票（応急組立橋貸与）

FAX送信先：011-621-7050

札幌開発建設部 防災課長 齋藤 宛

報道機関名	
参加者氏名	
問合せ電話番号	
連絡事項	

※連絡事項欄には伝達事項等がありましたら、ご記載ください。

【応急組立橋 貸与地】北海道開発局月寒庁舎（札幌道路事務所隣接）

